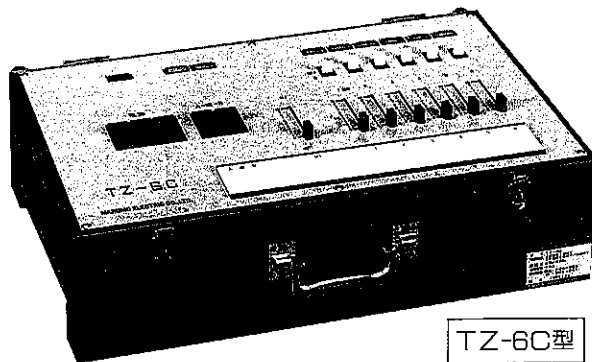
ディムパック TZシリーズ

取扱説明書

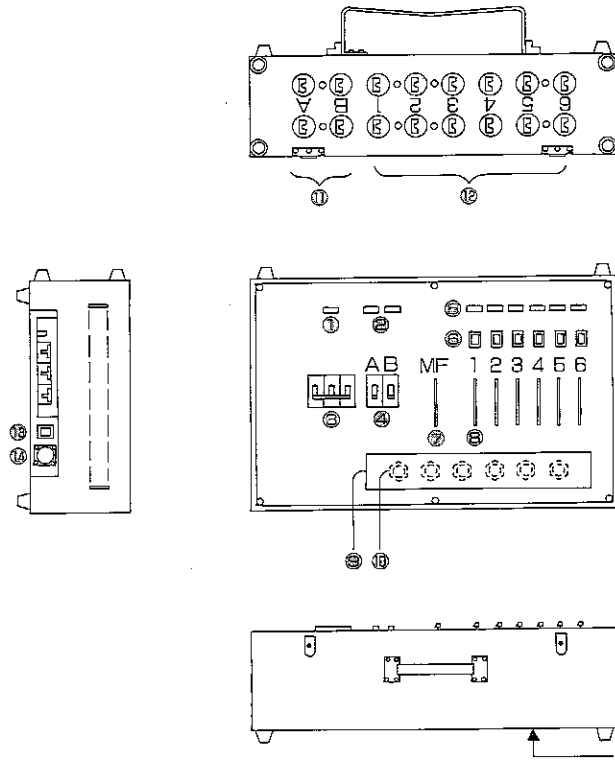
TZ- 6C型

TZ-10C型

TZ-15C型

TZ-6C型

MARUMO ELECTRIC CO.,LTD.

TZ-6C型

TZ-10C型

各部の名称
①受電PL
②直回路PL（A・B）
③電源スイッチ
④直回路スイッチ
⑤調光器モニターPL
⑥回路スイッチ（L-OFF-D）
⑦マスターフェーダ
⑧シングルフェーダ
⑨仕込記入板
⑩負荷ヒューズ（仕込記入板の下）
⑪直回路出力コンセント（A・B）
⑫調光回路出力コンセント（1～10）
⑬周波数切替スイッチ
⑭リモート信号用コネクタ

AB
MF 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

この部分（盤の左右）は、空冷用の吸気穴ですから、10cm以上の空間を設けて下さい。

調光装置の底面部分に、空冷用のファンがありますので、塞がないように注意して下さい。

TZ-15C型

定格仕様

型式名称		TZ-6C	TZ-10C	TZ-15C
電源方式		1φ3W 100V/200V、1φ2W 100V(TZ-6Cのみ)		
周波数		50/60Hz（スイッチ切替）		
主幹容量		75A	100A	125A
受電端子ネジ	R・N・T	M8（専用六角ナット締め）		
	E	M6（六角ボルト締め）		
適合電源線太さ		22mm²以上	38mm²以上	60mm²以上
適合接地線太さ		5.5mm²以上	5.5mm²以上	8mm²以上
直回路数		2回路	2回路	2回路
調光回路数		6回路	10回路	15回路
直回路	定格電流	20A(MCCB)		
	出力コンセント	C型20A（A・B各2個）		
調光回路	定格電流	20A(栓型ヒューズ)		
	出力コンセント	C型20A(1Ch当り各2個)		
	出力電圧	0~96V(100V入力時)		
	調光特性	略2乗特性(フェーダ目盛対出力電圧)		
周囲温度範囲		5~45℃		
外形寸法	横幅	540mm	690mm	900mm
	奥行	340mm	340mm	430mm
	高さ	170mm	170mm	170mm
重量		約20kg	約25kg	約40kg
＊予備品＊	負荷ヒューズ(20A)	2個	2個	2個
＊付属品＊	取扱説明書	1通	1通	1通
	ユーザー登録カード兼保証書	1通	1通	1通
	M8ボックススパナ	1丁	1丁	1丁
	リモート信号用コネクタ	1個	1個	1個
	電源線	2CT22mm² 3心 R22-8端子付き 3.2m 1本	—	—
＊オプション＊	遠方操作卓	TZOPR-6A	TZOPR-10A	TZOPR-15A
	負荷接続BOX	TZOPT-6C-1	TZOPT-10C-1	TZOPT-15C-1

電源の接続

1 電源を接続する前に

①電源は1φ3W式100V／200V電源をご用意ください。

注意
3φ3W式、3φ4W式電源は使用できません。

②電源の接続にあたっては、強電設備に関する充分な知識を有する方（電気工事士など）か、またはその指導のもとでおこなってください。

2 電源の接続方法

電源の接続は次のような手順でおこなってください。

①電源端子のアクリルカバーをはずしてください。

②端子台のナットを付属のボックススパナではずしてください。

③電源線を用意してください。

■ TZ-6C の電源線
キャブタイヤケーブル（22㎟×3心、3.2m）が付属されています。

■ TZ-10C の電源線
太さ38㎟以上のキャブタイヤケーブルをご用意ください。

■ TZ-15C の電源線
太さ60㎟以上のキャブタイヤケーブルをご用意ください。

④電源線の圧着端子を電源端子のM8ネジに装着し、専用の六角ナットで締め付けた後、アクリルカバーをビス止めしてください。

注意
ナットの締緩には付属のボックススパナを用いて、確実におこなってください。

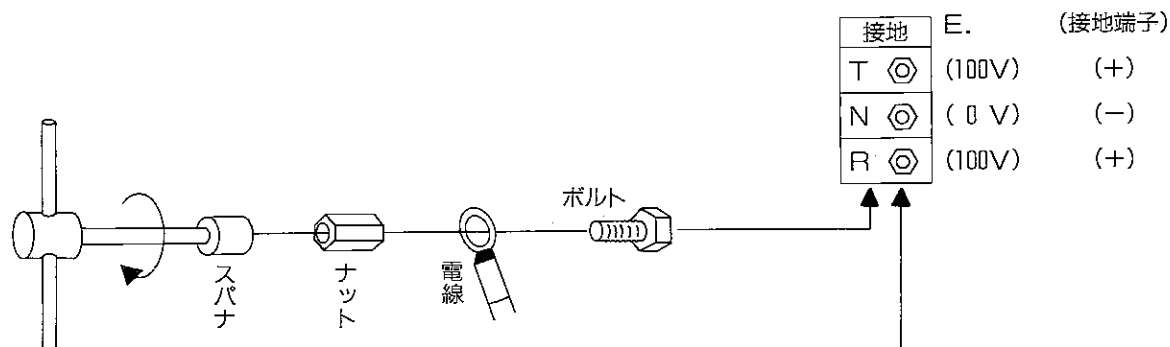
⑤電源線の各相は赤・白・青に色分けしてあります。
1φ3W方式の電源を次のように接続してください。

赤：R相　　白：N相　　青：T相

注意
1φ2W方式の電源を使用される場合には、R相とT相の間に渡り線を接続してください。

⑥接地端子に電線を接続し接地を施してください。

■ TZ-6C TZ-10C の接地電線
緑色、または黄色と緑色の縞模様を施した5.5㎟以上の太さの電線で接地をしてください。

■ TZ-15C の接地電線
緑色、または黄色と緑色の縞模様を施した8㎟以上の太さの電線で接地をしてください。

使用方法

1 使用前の確認

ご使用になる前に下記の各項目について確認してください。

①電源部分はゆるみがなく確実に取り付けられていること。

②充電部分が露出していないこと。

③周波数切替スイッチが使用場所の電源周波数に合わせて切替られていること。

④電源スイッチがOFFになっていること。

⑤マスターフェーダが0目盛側に下がっていること。

⑥負荷のプラグは出力コンセントに確実に差し込んであること。

⑦スタンドがロックされていること。

⑧その他、異常のないこと。

2 電源の投入(ON)

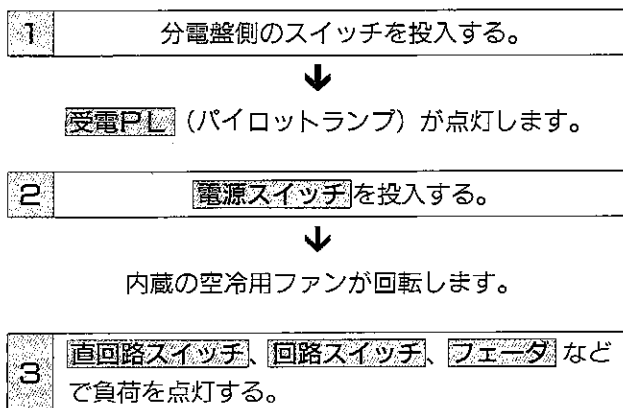
電源は次のような手順で投入してください。

1	分電盤側のスイッチを投入する。

受電PL（パイロットランプ）が点灯します。

2	電源スイッチを投入する。

内蔵の空冷用ファンが回転します。

3	直回路スイッチ、回路スイッチ、フェーダなどで負荷を点灯する。

3 直回路の使用法

直回路は直回路スイッチ(MCCB20A）と、これに直結された直回路出力コンセント(C型20A×2)、直回路PLで構成されています。
直回路は次のような目的にご使用いただけます。

①調光の必要のない負荷への給電、または点滅。

②白熱灯以外の負荷への給電、または点滅。

③調光出力に接続して使用予定の負荷の点灯確認。

それぞれの直回路は、コンセント1個あたり16A以下で、並列接続された2個のコンセントの合計が16A以下でご使用ください。(短時間なら20A使用できます。)

4 調光回路の使用法

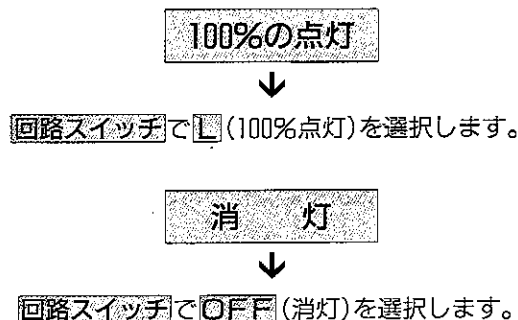
調光回路は20A調光器、負荷ヒューズ(栓型20A)、調光回路出力コンセント(C型20A×2)、調光器モニターPLおよび調光器を制御する回路スイッチ、シングルフェーダで構成されています。
調光回路は次のようにご使用いただけます。

①100%の点灯と消灯を繰り返す場合

100%の点灯

回路スイッチでL(100%点灯)を選択します。

消　灯

↓

回路スイッチでOFF(消灯)を選択します。

②0～100%の間の明るさでの点灯と消灯を繰り返す場合

0～100%の間で調光点灯

1）回路スイッチでD（調光点灯）を選択します。
2）マスターフェーダを100%の目盛位置に設定します。
3）シングルフェーダを0～100%の間の任意の値に設定します。

回路スイッチでOFF（消灯）を選択します。

③負荷の明るさを変化させる調光使用の場合
1）回路スイッチでD側に投入します。
2）シングルフェーダを0%目盛から100%目盛の間で操作し、調光をおこないます。

④複数の調光回路に接続した負荷を一括して調光する場合
1）調光回路に接続された負荷は、シングルフェーダでそれぞれ任意の目盛値を設定します。
2）マスターフェーダを0%目盛から100%目盛の間で操作します。
3）各回路の負荷は、それぞれのシングルフェーダの設定値を上限として調光制御されます。

TZ-15Cのマスターフェーダ操作

TZ-15Cは2本のマスターフェーダと調光回路ごとに設けられた MF1／FREE／MF2切替スイッチ の選択によって、つぎのような操作がおこなえます。

MF1→ シングルフェーダはマスターフェーダ1の操作に従属します。

MF2→ シングルフェーダはマスターフェーダ2の操作に従属します。

FREE→ マスターフェーダの拘束を受けずにシングルフェーダを単独に使用することができます。

5 リモート操作（オプション）

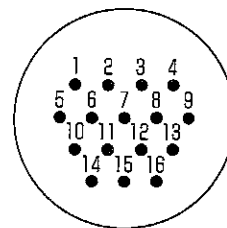
遠方操作卓（オプション）の接続によって、本器での調光操作だけでなく遠方からの操作もおこなうことができます。

①本器に遠方操作卓を接続した上で、遠方操作卓、あるいは本器のいずれか一方だけを使用する場合、使用しない方のシングルフェーダは0目盛に設定してください。

②遠方操作卓の詳しい取り扱いについては、遠方操作卓の取扱説明書を参照してください。

③コネクタのピン配列は図に示します。

④リモート信号用コネクタを介して、記憶式調光卓(プレーネットシステムなど）との接続も可能です。詳細は丸茂電機㈱までお問い合せください。

コネクタピン配列図

付表1　リモート信号用コネクタのピン配列

ピンNo	TZ-6C	TZ-10C	TZ-15C
1	1Ch	1Ch	1Ch
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	–	7	7
8	–	8	8
9	–	9	9
10	–	10	10
11	–	–	11
12	–	–	12
13	–	–	13
14	–	–	14
15	–	–	15
16	GND	GND	GND

負荷ヒューズの交換

1 負荷ヒューズについて

①負荷ヒューズは仕込記入板の下にあり、回路保護と調光器保護を兼用しています。

②本器には限流特性を持たせた栓型ヒューズBLA-20型（20A）を使用しています。

③ヒューズ交換には必ず指定のヒューズと交換してください。

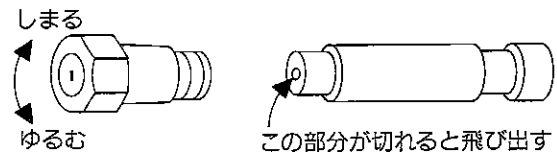
2 ヒューズの溶断

ヒューズが溶断すると、中心部が外面近くまで飛び出してきます。したがって目視で確認できます。

3 負荷ヒューズの交換

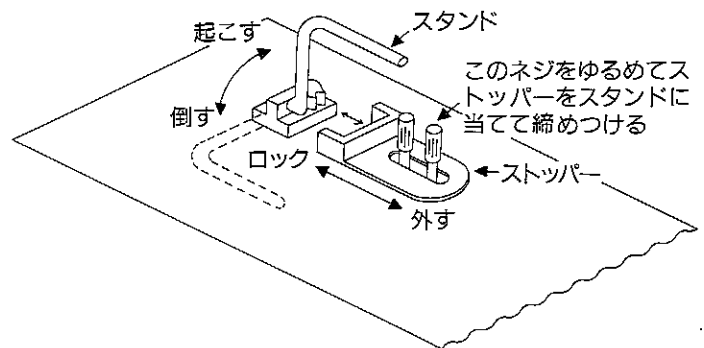
①電源スイッチを必ず遮断（OFF）状態にしてからおこなってください。

②ヒューズホルダーの碍子キャップはヒューズ交換時以外には必ずホルダー本体に確実にねじ込んで使ってください。

③補充用のヒューズが無い場合でも碍子キャップをはずした状態のままにしないでください。

スタンドの使用法

①スタンドは持ち運びの際は、本体の底面にふせてあります。

②使用の際は、スタンドを引き起こした後、片方ずつ転倒防止用のストッパーで確実にロックしてください。

③ストッパーを使用しないと、スタンドが突然倒れることがあります。必ずストッパーで固定してください。

使用上の注意

①本器に内蔵の調光器は白熱灯専用型です。負荷として蛍光灯、モーター、ネオントランス、放電灯などの誘導性負荷や容量性負荷は接続しないでください。

②星球用トランスや効果器用モーターは接続可能ですが、それ以外の負荷の接続は本器、または接続負荷の故障や焼損の原因となることがあり、非常に危険です。

③調光器モニターPLは負荷が接続されていない状態では点灯していますが、これは故障でありません。

④負荷が接続されているにも拘らず、回路スイッチがOFF状態でも調光器モニターPLが点灯している場合には、負荷の電球が切れているか、または器具内、あるいは途中の電線路、コネクタなどに異常があることが考えられますので点検してください。

⑤本器に内蔵の調光器には障害波防止回路が組み込まれていますが、本器を音響用電源として用いることは避けてください。

保証について

この「ディムパック」にはユーザー登録カード兼保証書がついています。お手数ですがユーザー登録カードの各項目に必要事項をご記入のうえ、弊社宛にご送付ください。

保証期間はお買い上げの日から１年間です。

修理を依頼される時は

①故障修理の場合には、お買上げ店、または弊社の各営業所に型名、製番、不具合の内容をご連絡ください。

②保証期間中の修理は、保証書の記載内容によって修理いたします。

③保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

丸茂電機株式会社

本社・営業部 〒101 東京都千代田区神田須田町1-24 TEL.(03)3252-0321
大阪営業所 〒530 大阪市北区野崎町9-6(東梅田ビル) TEL.(06)312-1913
名古屋営業所 〒460 名古屋市中区栄4-1-1(中日ビル) TEL.(052)263-7425
福岡出張所 〒810 福岡市中央区大名1-14-45(福岡湯池ビル) TEL.(092)741-4762
広島出張所 〒734 広島市南区皆実町1-10-2 広島建設工業㈱内 TEL.(082)252-1600
札幌出張所 〒060 札幌市中央区南一条西7-12(都市ビル) TEL.(011)261-0321
仙台出張所 〒980 仙台市青葉区本町1-13-24(平山ビル) TEL.(022)263-0221

6.4.500